

(参考)

長距離自然歩道の概要について

1 目的

長距離自然歩道は、国土を縦断、横断又は循環し、多くの人々が四季を通じて手軽に楽しくかつ安全に国土の優れた風景地等を歩くことにより、沿線の豊かな自然環境や自然景観、さらには歴史や文化に触れ、国土や風土を再認識し、併せて自然保護に対する意識を高めることを目的としている。

これまで昭和45年度の東海自然歩道以降、九州、中国、四国、首都圏、東北、中部北陸、近畿と順次整備を進めてきており、現在整備を進めている北海道自然歩道を加えると、全国の長距離自然歩道の計画総延長距離は約2万6千kmに及ぶことになる。

2 事業概要

計画主体：環境省

整備主体：国立公園区域内 環境省（直轄事業）

国立公園区域外 都道府県及び市町村（交付金：45 / 100）

管理運営：国立公園区域内 環境省

国立公園区域外 都道府県及び市町村

事業内容：主な施設・・・歩道、橋、園地、休憩所、駐車場、公衆トイレ、標識など

3 交付金制度

(1) 交付率

対象事業費の45%を都道府県に一括交付

(2) 交付対象

国立公園外における整備（国立公園内は環境省直轄）

4 長距離自然歩道の概要

名 称	整 備 期 間	関係都道府県	路線延長(km)	利用者数(H16)
東海自然歩道	昭和45～49年度	1都2府8県	1,697	671.8万人
九州自然歩道	50～55	7県	2,587	731.5万人
中国自然歩道	52～57	5県	2,211	230.7万人
四国自然歩道	56～平成元	4県	1,637	292.6万人
首都圏自然歩道	57～63	1都6県	1,665	625.1万人
東北自然歩道	平成2～8	6県	4,374	1,145.4万人
中部北陸自然歩道	7～12	8県	4,029	846.4万人
近畿自然歩道	9～15	2府7県	3,258	1,522.8万人
北海道自然歩道	15～24	北海道	4,585	
合 計			25,904	6,066.3万人

ここでの記載は今回の変更前の距離。

変更後の距離は、首都圏自然歩道1,799km、合計26,038kmとなる。